



請 願 書

(請願名)

「住宅無償提供」の継続を求める意見書提出方請願

紹介議員

米沢市議会議員

我妻 徳雄

”

高橋 壽

”

”

”

”

”

”

請願者住所：米沢市万世町桑山 4283 2-206

氏 名 (団体の場合は団体名及び代表者名)

福島原発被災者フォーラム山形・福島

代表 武田 徹



電 話 0238-49-7631

請願者住所：福島県田村市船引町芦沢字小倉 140-1

氏 名 (団体の場合は団体名及び代表者名)

原発事故被害者団体連絡会 (略称「ひだんれん」)

共同代表 長谷川 健一 武藤 類子



電 話 080-5739-7279

平成 28 年 6 月 3 日

米沢市議会議長

海老名 悟 様

「住宅無償提供」の継続を求める意見書提出方請願

【請願の要旨または理由】

福島原発事故から5年を経過しましたが、事故収束の見通しは全く立っておりませんし、汚染水も、海洋を汚染し続けております。長引く事故のために、被災者は古里を離れ、家族や地域と分断されたまま、長期の避難生活を強いられております。ここ米沢市では、平成28年5月12日現在、724人（山形県2,916人）が避難生活を続けています。

避難者の生活で最も重要なものは、住宅問題です。ところが、国、福島県は本年2月3日、住宅支援を「来年3月一杯で支援を打ち切る」との声明を出しました。この声明は、被ばくを恐れて避難している多くの人に、否応なしに「残るか帰るか」の選択を迫ることになります。避難生活が5年経ち、この地に根付いた生活をして幼稚園、小中学校、高校に通っている子ども達、これらの将来を担う子ども達に、最大限の考慮を払った施策が必要だと考えます。県を越えた保護が求められます。

それで、米沢市議会に以下の諸点の実現を求め、請願致します。

1. 国、福島県に対し、「平成29年3月一杯での住宅支援打ち切り」方針を撤回、もしくは凍結するよう要請すること。
2. 住宅支援については、避難当事者の意見を十分に聴取する場を設け、出された意見を反映させるよう国、福島県に要請すること。

以上、の趣旨により、米沢市議会において国の関係機関、および福島県に対して上記の項目について意見書を送付されますよう、地方自治法第124条の規定により請願致します。

平成28年6月3日

請願者

〒992-1123

米沢市万世町桑山 4283 2-206

福島原発被災者フォーラム山形・福島

代表 武田 徹

電話番号：0238-49-7631

〒963-4316

福島県田村市船引町芦沢字小倉 140-1

原発事故被害者団体連絡会（略称「ひだんれん」）

共同代表 長谷川 健一 武藤 類子

電話番号：080-5739-7279

米沢市議会議長 海老名 悟殿